

札幌駅交通ターミナル事業計画(案)【概要版】

札幌駅交通ターミナルの整備の方針

ポテンシャル

- 北海道新幹線の札幌延伸 [2030年度末]
- 冬季五輪の招致 [2030年]
- 都心アクセス道路(国道5号の機能強化)の検討



提供: JR北海道

課題

- 都市間・都市内バス乗降場の分散
- 国道5号を含む面的な交通混雑
- 災害時の交通と受入空間の確保



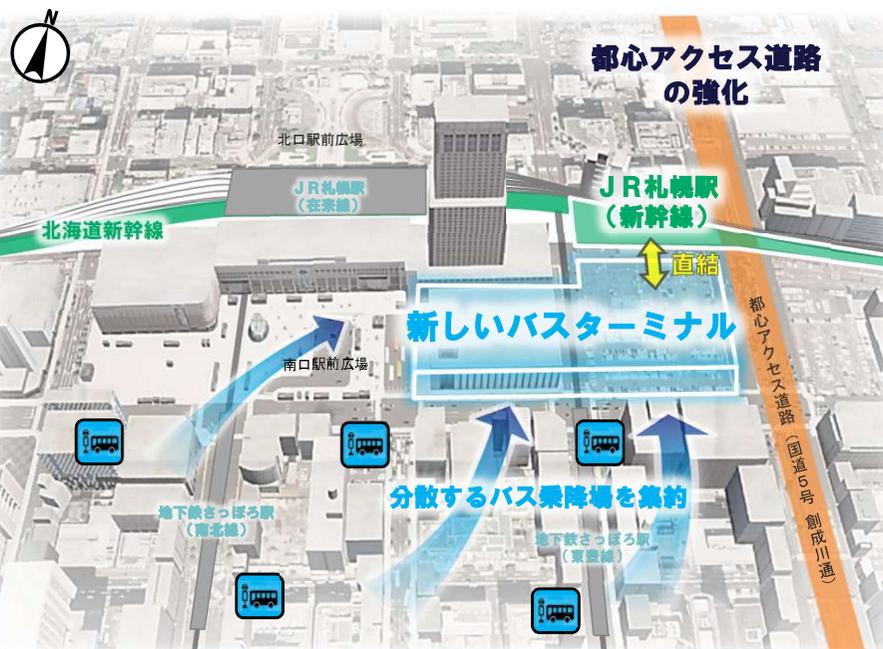
北海道胆振東部地震時の状況
(札幌駅地下歩行空間)

世界とのゲートウェイ・札幌

『北海道新幹線と高速バスが直結するバスターミナルの整備』

～全道に効果を波及させ、食と観光で全国に貢献する「生産空間」を支えます～

高速道路と連携した全道各地へインバウンド観光等の新たな人流を創出



① 観光機能の強化

- ・ インバウンドを含む観光案内所の設置
- ・ 観光MaaSの導入 等

② 防災機能の強化

- ・ 帰宅困難者等の受入空間
- ・ 情報提供施設の整備 等

③ 多様なモビリティとの連携

- ・ シェアサイクル
- ・ 新たなモビリティ 等

札幌駅周辺の将来の姿

4つの
基本
コンセプト

街並み形成

道都札幌の玄関口にふさわしい
新たなシンボル空間の創出

基盤整備

多様な交流を支えにぎわいを形成する交通結節
点機能の充実とバリアフリー化の推進

機能集積

北海道、札幌の国際競争力を
けん引する都市機能の集積

環境配慮・防災

環境にやさしく災害に強い
最先端の都心モデルの実現

4つの
整備方針

北海道新幹線と高速バスが直結する
バスターミナルの整備

観光機能の強化

防災機能の強化

多様なモビリティ
との連携

世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔づくり ～道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化～

歩行者動線と待合空間の整備

利用者がわかりやすく快適に
バスを待つことができる待合
空間を整備
更に、災害時には一時避難場
所として機能し、代替輸送拠
点や物資集積拠点として活用



創成川上空 歩行者動線の整備

創成川の上空を横断する歩行者
ネットワークの形成により、創成
東地区との交通結節機能を強化



バスターミナルの整備

都市間バス、路線バスの集約
を基本としたバスターミナル
を整備
更に、札幌駅周辺において新
たなモビリティ等多様な交通
モードとの連携により交通結
節機能を強化



都心アクセスの強化

都心アクセス道路(国道5号
創成川通)の整備により、交
通混雑、交通事故の低減を
図り、都市機能を最大化



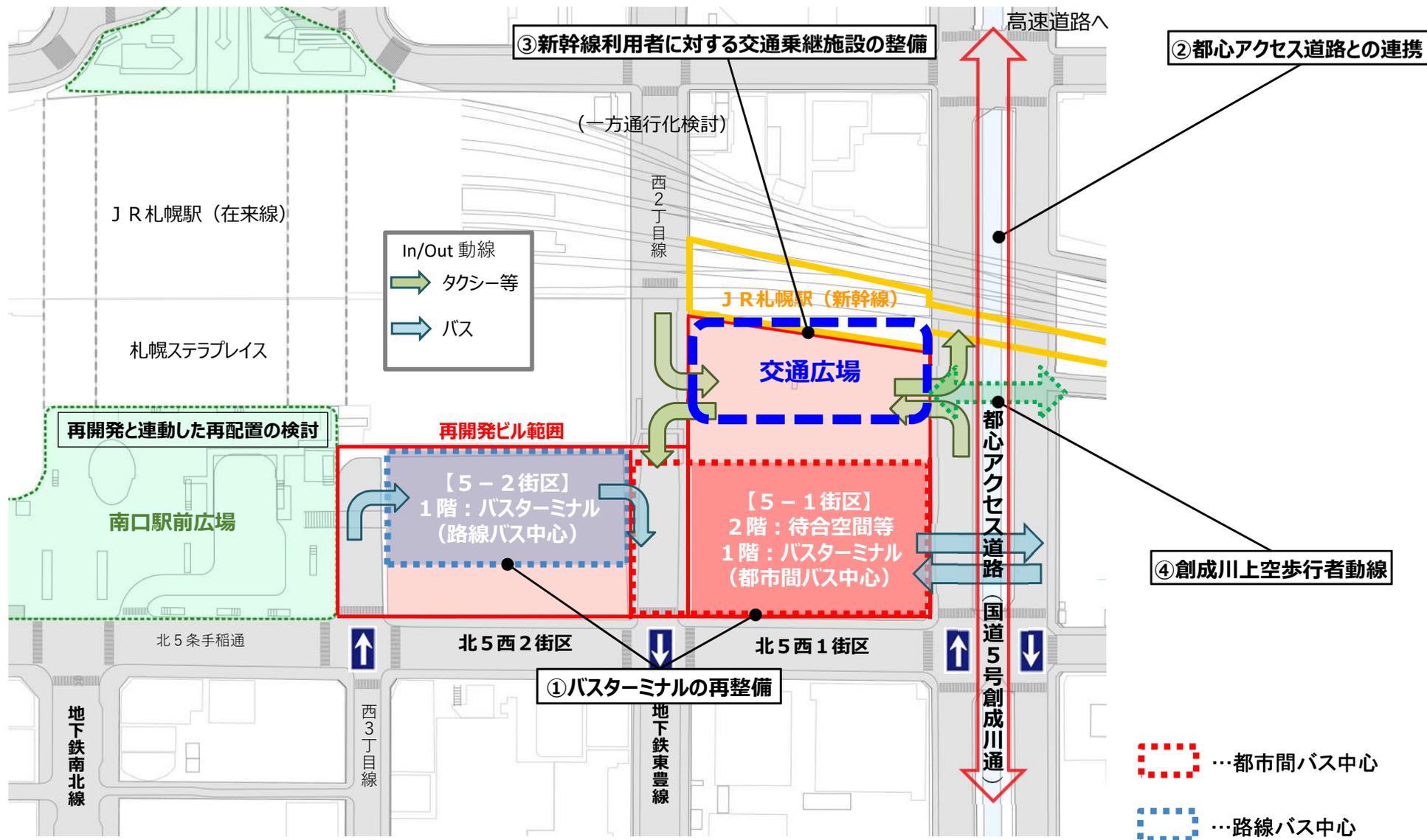
新幹線駅との連携

北海道新幹線札幌駅との
一体的な整備
更に、東改札口および交通
広場を整備し、新たな公共
交通システム等の二次交
通と接続することで、一大
交通結節点を形成



※建物外観・形状はイメージであり、実態と異なる場合がある。

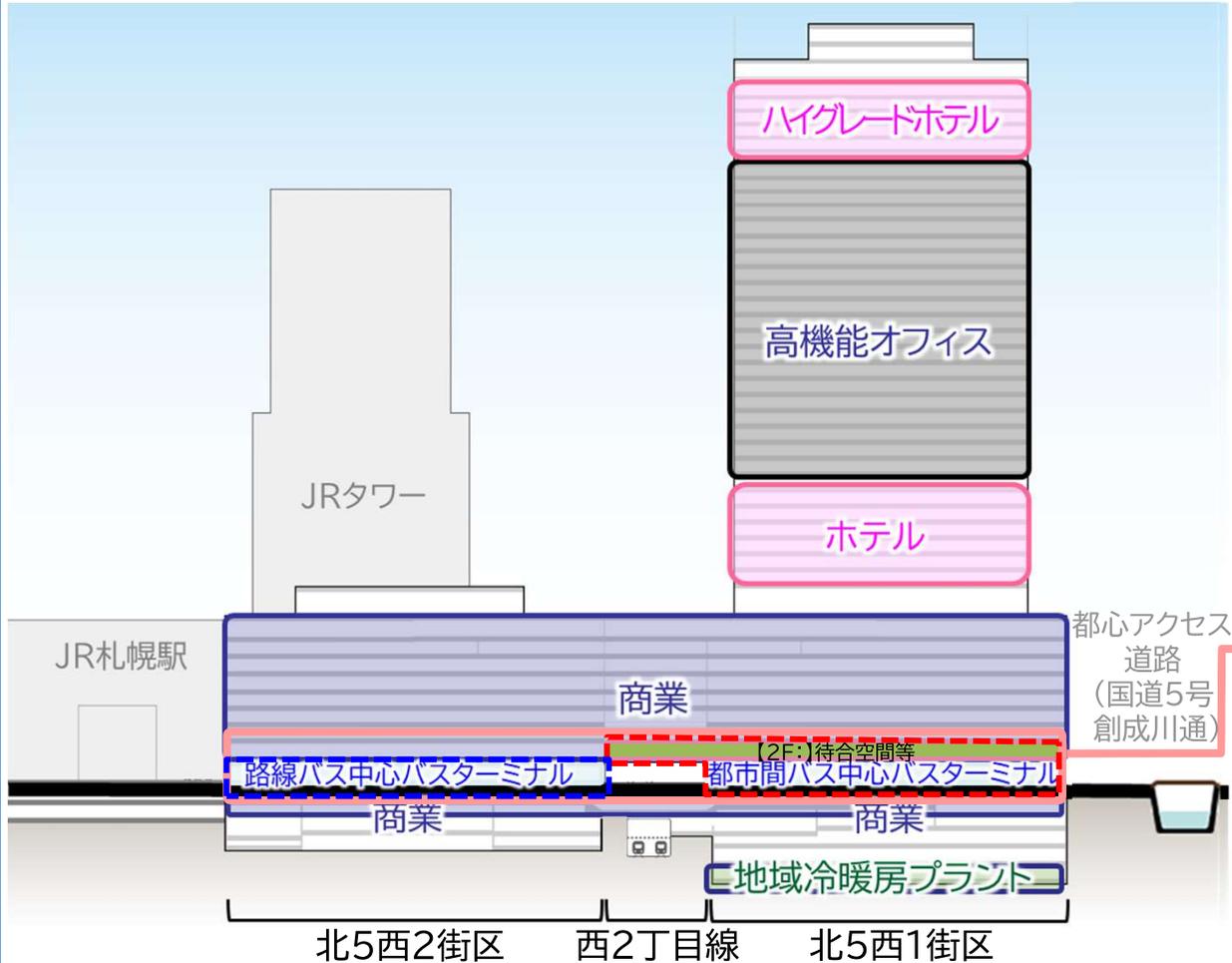
施設配置計画と事業区分【平面図】



図：基盤整備イメージ

施設配置計画と事業区分【立面図】

再開発ビル



〈再開発ビルの構成イメージ〉

…都市間バス中心 …路線バス中心

新しいバスターミナル

世界のゲートウェイ・札幌として、北海道新幹線と高速バスが直結する新しいバスターミナルを整備することで、観光機能の強化、防災機能の強化及び多様なモビリティとの連携を図る。



〈待合空間のイメージ(2階)〉



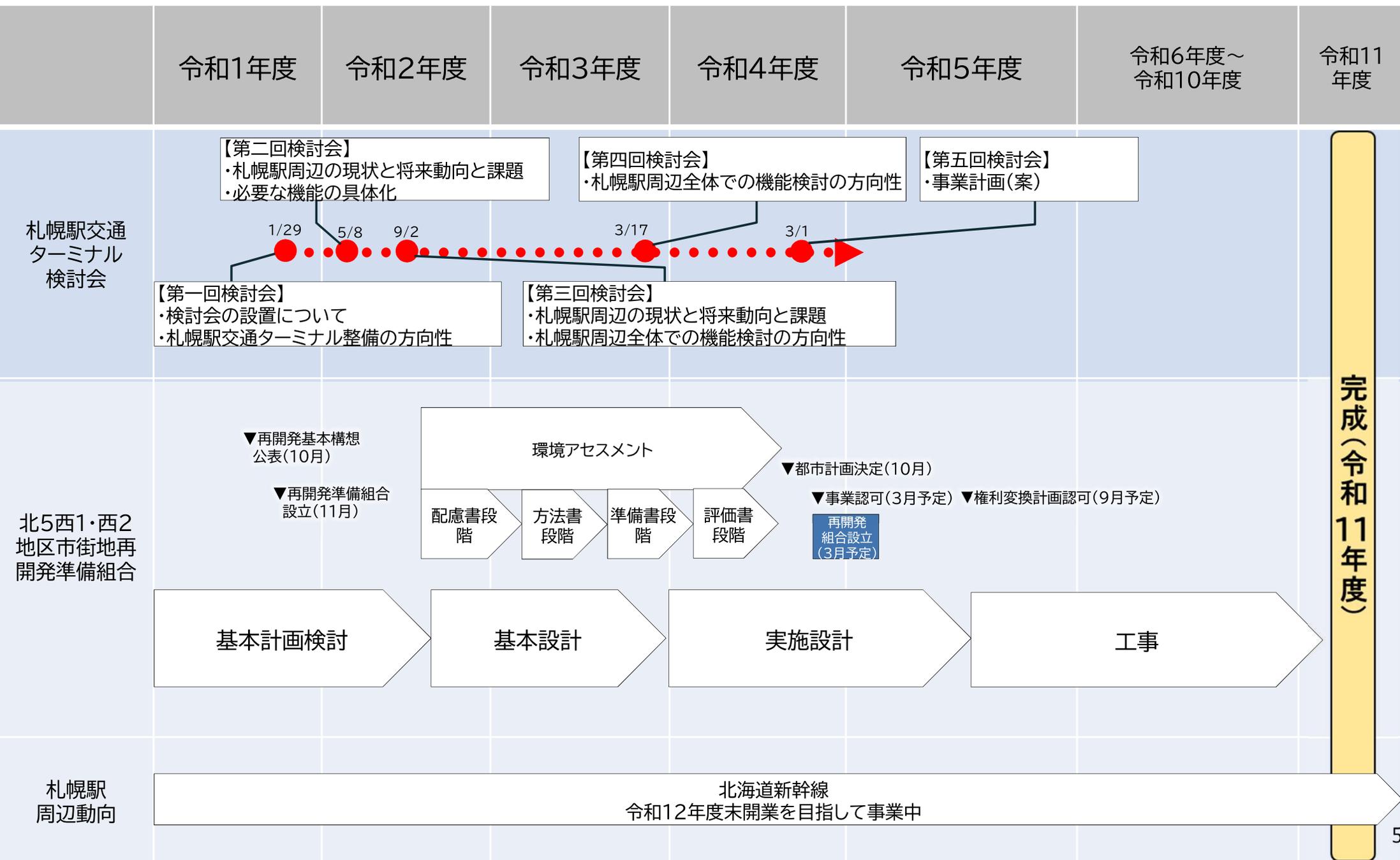
〈バス乗降空間のイメージ(1階)〉



防災拠点

災害時に再開発ビルを一時滞在施設等として活用するとともに、新しいバスターミナルに鉄道の代替輸送機能及び多言語に対応した情報発信機器等を整備し、安全・安心な空間を創出する。

事業スケジュール



完成(令和11年度)